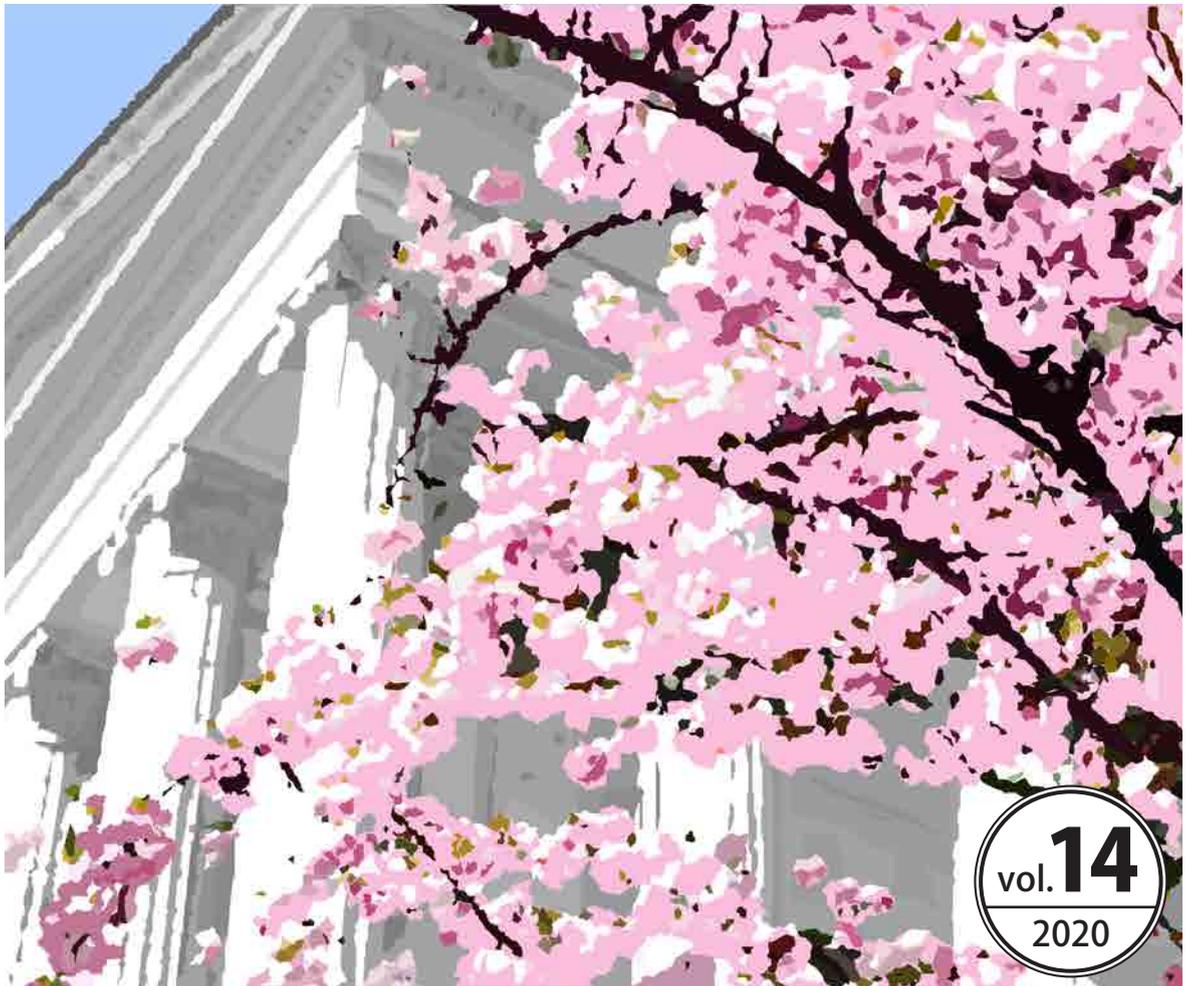


Le Monde de Keishin



14期生

進級おめでとうございます

*VIVAT NOSTRA SOCIETAS, VIVANT STUDIOSI
CRESCAT UNA VERITAS, FLOREAT FRATERNITAS*

「ガウデアームス」ヨーロッパの学生歌

14期生の団結が永遠であれ、14期生の慶進が永遠であれ
真実と誠実さが14期生の絆を育む

高校三年間が最高のものになるように

中学校の課程を修了し、高校の課程に進級する14期生のみなさんは今、どんな気持ちでいることでしょうか。高校生活への期待と不安の入り混じった思いでいるかもしれません。そんな14期生のみなさんに、高校生徒会長河村松馬さんからメッセージをいただきました。

生徒会長

河村 松馬
(グローバルコース三年)



14期生の皆さん、ご進級おめでとうございます。中学校の三年間はどのようなものだったでしょうか。勉強に勤しみ部活動に励み、生徒会活動をこなしていた人もいるのではないのでしょうか。皆さんが慶進で過ごす六年間の折り返し地点に差し掛かり、今まで自分が進んできた道を振り返り、そして、これから進んでいく道を改めて定める大切なポイントになりました。

慶進高等学校では、三つのコースが存在し、約七〇〇人近くの生徒が同じ学校で生活していることになり、学校で生活していることになり、行事は、中学校の時より盛大なものになっていきます。そういった学校活動の中で、どのように仲間と関わり、先生方から学び、将来何を目標として今後の活動をしていくのか、改めて考えてみましょう。

高校生活を送っていくうえで、意識してほしいことが四つあります。

一つ目は、時間の大切さを意識することです。今日から始まる高校三年間は皆さんに平等に与えられた限られた時間です。高校では、中学校の時よりも自由度が増し、いろいろな場面から出来ることが増えていくでしょう。その中で自分が何を優先し、どのぐらいの時間を費やせばいいのかを常に意識して生活してみてください。

二つ目は、とりあえずやってみる行動力です。すでに興味のあることが見つかったり、興味のあることを見つけた人にもいると思います。そんな人には、とりあえずやってみることをオススメします。例えば、ネットなどで調べた本を読んだりしても自分が本当に興味あるものなのか分りあえずやってみて、自分に合わないと感じたら、そこでやめればいいのです。

三つ目は、選択肢が増えていくことを上手に利用することです。これは僕が中学校の先生から卒業する際に送られたメッセージの一つなのですが、高校では様々なことに挑戦する機会が増え、いろいろな選択肢が増えます。それらをどのように利用し、どう生かしていくかで自分が歩むべき道の広さがきまると思います。

四つ目は、知識を得るより知識を結びつけることです。新しい知識を得るのは、自分に知識を足していく、足し算でしかあ

りません。それは、ネットで調べればすぐできてしまう簡単なことです。しかし、二つの分野の知識を結びつけるのは、相乗効果があり、掛け算になります。今の時代では、この知識の掛け算が重要なのです。十分な情報を足し算していき、それらを掛け算できるようなれば物事の考え方は変わっていくはずですよ。是非、以上の四つのことを心掛け、高校生活を送ってみましょう。もし、自分が進む道がわからないようになった時や超えられない壁にぶつかったときは、先生方や先輩方に相談してみてください。きっと助けになってくれるはずです。これから出会う友達にコースという垣根を超えた人にも現れるでしょう。様々な人との出会いが自分の世界を広げてくれます。新しい仲間との出会いも大切にしてください。

皆さんの三年間が最高のものになるように生徒会も全力でサポートします。最高に楽しい高校生活を一緒に過ごしていきたいま

6年中高一貫教育 英知を尽くし、未来を切り拓く。

慶進では生涯にわたって役立つ学力を身につけるために、6年間で2・2・2の3つのステージで構成しています。勉強のおもしろさを知ることから始まり、生徒たちが主体的に学習に取り組み、学内外の様々な体験活動で、豊かな人間性と、ともに生きる力を育み、次世代のリーダーとなる人材を育てます。

1st Stage	2nd Stage	3rd Stage
基礎学力養成期	実力充実期	発展応用期
中学1年生	中学2年生	中学3年生
高校1年生	高校2年生	高校3年生

これが慶進 BIG 4

高校生になると模試・模試・模試。小テスト・小テスト・テスト。とテストばかりで大変だというイメージがあるかもしれません。

でも、慶進の高校生活にも中学校生活と同じくらいみなさんを成長させてくれる行事がいっぱいです。そんな行事の中でビッグ4を先輩たちがみなさんに紹介します。

12期生 大久保 甲斐 (高三)

進級式

僕達中高一貫コースの生徒は、中学生の時、高校も中学の延長線上にあると考えてきたと思います。ですが、進級してみると全くの別物であったことに気づかされます。中学生の時と同じような甘い考え方では通用しません。日々の授業と自分の卒業後の進路とのつながりが見えてくるからです。

また、高校生になると、自分で決断できる物事が中学生の時より増えます。数多くの選択肢から学業との両立を考えて、何を捨選択するかを考えることは、悔いのない高校生活を送るために重要です。

進級式は自分の高校三年間の立志を在校生全員の前で読み上げる非常に重要な行事です。目標は人に宣言したほうが良いという言葉をよく聞くように、各々が立志を在校生に宣言し、同級生の立志を聞くことによって、志を新たにする良い機会です。僕は友人たちの高校三年間の目標を聞きながら、自分も負けてはいられないと強く感じました。中学生の時は自分の将来をあまり真剣に考えていませんでしたが、立志を宣言することによって、いろいろなことに挑戦するようになりました。大勢の人間の前で一人ひとりに発言の機会が与えられる場というのは本当に貴重です。自分が努力しなければ達成できないような目標を、ありきたりな言葉ではなく自分の言葉で述べると良いと思います。

13期生 藤井 祐希 (高二)

農業漁業体験

この体験は、私にとってすごく大事なものになりました。「田舎生活体験」とはとっても普段から似たような生活をしている私には物珍しいものではありませんでした。しかし、普段はずっと持っている携帯電話やゲームなどから離れた生活はすごく新鮮なものでした。そんな生活を友達と過ごすことでとても良い時間を過ごせました。

体験場所は佐賀県唐津市。どんな家庭に行くのかは全く分からず、期待と不安を感じていたのを今でも覚えています。到着後、それぞれの家庭に分かれ、そこからはその家庭によって体験することが違います。私がお世話になった家庭は優しいおじいさんとおばあさんの二人暮らしの家庭で、一日目はバーベキュー、次の日はお花見に行ったりとても良い思い出になりました。また、人数が多いのでお風呂は銭湯に行くことが多く、そこで誰かに会うのも楽しみの一つでした。最終日、お別れの挨拶をしたのち、皆と一緒に海へ地引き網をしに行きました。その日は波が強くて網を一つしか出すことができなかったり、魚がとれなかったり、予想もしていないようなことが沢山ありました。だけど、そんなハプニングも皆といることで逆に楽しむことができました。

この体験は、私に仲間の大切さや自然の大切さを教えてくれました。そして、高校生活最初の良い思い出作りにもなりました。このようなことを体験できて本当に良かったです。

13期生 ホセイン ルハン (高二)

慶進祭

「圧倒的に時間が足りない！」これが中学校と高校の慶進祭の最も大きな違いであり、準備を進めているときに誰もが一度は感じるのだと思います。高校生になると、授業中に準備時間をとってもらえるようなことはほとんどなくなります。ですからほとんどの展示やCMの準備は放課後の限られた時間内で済ませないといけません。そこで大切になってくるのが「早めの取り掛かり」です。生徒会の展示やCMに関するアンケートが配られてから話し合いを始めていると間に合わなくなってしまうと思います。今までの慶進祭の経験からどんな話し合いをして何を決めれば良いのかはわかっていると思うので、四月中に展示の内容やCMの内容を考えて決めておいた方が良いでしょう。そして農業漁業体験やGWを終えてからすぐに本格的に準備や撮影を始めると良いと思います。

自分はCM担当だったのでCMについてのアドバイスは、良いCMを作ろうとすると、編集も撮影も上手くいかず、時間がかかってしまうと思います。効率良く時間を使うためには、出演者などがイメージを持ちやすいように、絵コンテだけでなく、手書きの絵を使ったコマ撮りやパワポのアニメーションを使って、「仮のCM」を作ることを強くお勧めします。また、撮影のスケジュールや必要なものなどを早めに紙に書いて整理しておくなどの事前準備が良い作品につながるでしょう。

12期生 徳重 友香 (高三)

修学旅行

修学旅行は高校三年間の中でも最も大きな行事で、誰もが楽しみにしていると思います。日本を飛び出し、シンガポール・マレーシアの異国で過ごす日々は、日本での日常では味わうことの出来ない楽しさと緊張感でいっぱいでした。

シンガポールのセントーサ島では、水族館に行きました。そこにある世界最大級の水槽は、まるで海の中にいるような気分になりました。セントーサ島には他にも、USSなどの楽しい観光スポットがたくさんあるので、班のメンバーとどこに行くのかをよく調べておくことが大切です。次に、マレーシアでの学校交流では、異文化を肌で感じることでできるチャンスです。また、日頃の英語力を発揮することが出来ます。少し英語になまりがあり、聞き取りにくい部分もありましたが、ジェスチャーと笑顔で乗り切れます。頑張ってください！

私は将来、発展途上国を支援していきような活動をしたいと思っています。だから超先進国であるシンガポールと、発展途上国であるマレーシアの両国を訪れることができたことは自分にとってすごく良い刺激になりました。また、普段の生活が当たり前では無いことをあらためて感じる部分もありました。本当に充実した四泊五日でした。みなさんも思い切り楽しんで、高校生活の一大ビッグイベントを最高の思い出にしてください！！

2020年度 大学合格実績

東京大学 2名 国公立大 68名合格 医学部医学科 14名合格(国立 10名・私立 4名)

国公立大学

筑波大学	1	社会国際	山口大学	24	医【医1】・医【保健】・教育・経済・工・人文・道	東京都立大学	1	経済経営
埼玉大学	1	教養	愛媛大学	1	工	山口東京理科大学	8	工・業
東京大学	2	理科一類・文科二類	九州大学	4	医【医2】・歯・法	下関市立大学	2	経済
静岡大学	1	工	福岡教育大学	2	教育	山口県立大学	3	看護栄養・国際文化・社会福祉
京都教育大学	1	教育	佐賀大学	2	農	北九州市立大学	3	外国語・経済
神戸大学	1	理	大分大学	1	理工	防衛大学校	2	人文・理工
岡山大学	2	環境理工・理	鹿児島大学	1	工	水産大学校	2	生物生産
広島大学	3	医【医1】・工・情報科学						

私立大学 (抜粋)

自治医科大学	1	医【医1】	早稲田大学	3	教育・商	就実大学	1	業
青山学院大学	1	総合文化政策	神奈川大学	1	工	広島文科学園大学	1	看護
慶應義塾大学	1	理工	京都外国語大学	2	外国語	広島工業大学	2	工・情報
駒澤大学	2	経済	京都産業大学	6	経営・生命科学・法	広島修道大学	13	経済科学・健康科学・国際コミュニティ 人間環境・人文・法
昭和薬科大学	1	薬	京都薬科大学	1	薬	福山大学	1	業
中央大学	2	商	同志社大学	2	経済	安田女子大学	9	家政・看護・教育・文・現代ビジネス
帝京大学	2	福岡医療技術・文	立命館大学	8	映像・食マネジメント・総合心理・経済・国際関係・産業社会	広島国際大学	3	総合リハビリテーション・業
東海大学	1	工	龍谷大学	2	社会・農	山口学芸大学	8	教育
東京電機大学	1	工	関西大学	8	化学生命工・経済・社会・社会安全・総合情報	九州産業大学	8	経済・建築都市工・地域共創・商
東京理科大学	3	理工・基礎工	関西医科大学	1	医【医1】	久留米大学	15	医【医1】・医・経済・商・人間健康・文・法
東邦大学	1	薬	関西外国語大学	2	外国語	久留米工業大学	1	工
東洋大学	1	社会	近畿大学	10	産業理工・総合社会・文芸・法・理工	西南学院大学	8	商・法・人間科学
日本医科大学	1	医【医1】	摂南大学	1	農	西南女学院大学	8	保健福祉
日本女子体育大学	1	体育	関西学院大学	4	経済・理工	第一薬科大学	1	看護
法政大学	3	経営・社会	神戸女学院大学	1	文	中村学園大学	2	教育
武蔵野大学	1	業	神戸薬科大学	1	薬	福岡大学	20	経済・工・商・人文・法・業・理
明治大学	2	商・法	岡山理科大学	4	理	九州看護福祉大学	1	看護福祉
立教大学	1	社会	吉備国際大学	2	農・保健医療福祉	立命館アジア太平洋大学	1	アジア太平洋

14期生の皆さん、ご進級おめでとうございます。

中高六年間の内、半分が過ぎましたが、三年という時間は長いようで、終わってみるとあっという間だと思います。そこで卒業生として皆さんに伝えたいことが三つあります。まず一つ目は「集中」です。どれだけの時間を費やすかよりも、どれだけのことを身に付けられるかを考えて、成長していきましょう。二つ目は「健康」です。昨今コロナウイルスが大変な問題となっていますが、大学入試は通常通り、救済無しで行われました。自分の体調を管理して、大切な時にベストコンディションで臨める力も実力の内です。三つ目は「日々の積み重ね」です。毎日コツコツとやって自分の中に定着させたものが、受験でも試合でもプレッシャーの中で発揮できる真の実力になると思います。ぜひ、これらのことを意識して悔いの残らない高校生活を送ってください。

東京大学 理科I類 11期生 立石 真之

14期生のみなさん、ご進級おめでとうございます。

制服も変わり、慶進での生活も折り返し地点に入りました。そんなみなさんに伝えたいことは、「最後まで諦めない」ということです。高校生になると、受験勉強が本格的にスタートし、上手くいく時もあれば、思い通りに成績が伸びない時もあります。焦ったり、不安になることもあると思いますが、最後まで粘ってください。私も実際に受験を経験して、諦めないことの大切さを痛切に感じました。受験は、最後まで諦めなかった人が勝ちます。最後の一分・一秒まで自分を信じて、諦めずに努力し続けてください。

慶進での生活の最後にみなさんが、「合格」を掴み取ることができることを祈っています。

山口大学 医学部医学科 11期生 夏山 穂乃香